

## 宇宙の話

今日は、少し**宇宙の話**をしましょう。

3学期くらいから気がついている人もいますが、

**夕方**の**西の空**に**ひときわ明るく輝く一番星**にみなさん気がついていますか？

この明るい星は、**太陽系の惑星(わくせい)の仲間**、**地球のきょうだい** **金星**です。太陽を中心に、地球のすぐ内側を回っています。

夕方、明るく輝いている**金星**は、昔から宵(よい)の**明星(みょうじょう)**とよばれ、親しまれてきました。

ギリシャ神話では、平和の女神**ビーナス**とよばれています。

金星の清らかでくっきりとした輝きは、昔から人々の心をなごませ続けてきたことがわかりますね。

下の図を見てください。今日の地球から見た金星の位置を表しています。地球も金星も太陽のまわりを回っていますが(**公転**)、今は、地球から見て金星はかなり近い位置にあり、金星が、地球のひとつ内側のコース(**公転軌道**)を追いかけているような形になっています。金星のほうが地球より速く公転しているため、6月の初めには、金星が地球の内側のコースを追い越していってしまいますが(リレーで内側のコースを速いランナーが追い越していくような感じです)、5月末くらいまでは、まだ金星が地球を追いかける形で公転しています。



ちょうど図のような位置関係にある**今の時期は、地球から見ると、金星が夕方の空に最も明るく輝いて見える位置にあたります。**

とても明るいので、あたりが真っ暗なところでは、金星の光で自分の影ができるくらいです。日が沈んで空が真っ暗になった時間に、部屋を暗くして金星の光を部屋に入れてみてください。うまくいけば、窓から差し込んだ金星の光で、影ができることを確かめられるかもしれません。

また、目のいい人なら、よく晴れた日の昼間に、青空のなかに金星を見つけることができるそうです。

今の時期に**金星を望遠鏡で見ると、上の図のような半月より少し欠けた月のような形を見ることができます。**

おうちに天体望遠鏡がある人は、おうちの方といっしょに観測にチャレンジしてみてください(太陽の光を見ないように気を付けましょう)。

金星が見えるだいたいの位置は、下の写真を参考にしてください。

日没のころは、まだ空のかなり高いところにあります。まわりが明るいので、見つけるのにちょっと時間がかかるかもしれません。

7時くらいになると、空も暗くなってきますので、西の空約30度くらいの高さに、誰でもすぐに気がつくくらい明るく輝いているのがわかります。

いちばん見えやすいのは、空がすっかり暗くなった**夜7時半～9時**ころです。それより遅い時刻になると、西の地平線に沈んでいってしまいますので、見えにくくなってしまいます。



天気が悪い日は、星を見ることができませんが、心配しなくても、**金星はゴールデンウィークのころまでは、夕方の西の空に明るく輝いています**ので、あわてずに、

天気のよい日をねらって、じっくりと観測してみましょう。

なお、金星や星空についてのくわしい情報は、「アストローツ」のホームページにわかりやすくのっています。

<http://www.astroarts.co.jp/special/2020venus/index-j.shtml?ref=side>

興味のある人は、参照してください。

それでは、みなさんにとって、よい週末になりますように！

！